

第42回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年4月4日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第42回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○市村国土交通省大臣政務官

- ・東日本の再興に向けてよろしく願います。

○笠文部科学大臣政務官

- ・地域の子ども達の支援の要望を頂いて、政府として最大限出来る限りしっかり対応していく。

○小野寺危機管理監

- ・人的被害は死者7,059人、行方不明者6,369人である。
- ・都市ガス復旧率は35.9%である。

○仙台管区气象台

- ・今朝の冷え込み、4月の記録としては最高記録である。

○今野総務部長

- ・特になし。

○伊藤企画部長

- ・東北本線：岩沼－仙台間で4月3日19時00分から運行再開する。
- ・宮城交通バス：仙台－気仙沼間は1日6往復で運転中である。

○小泉環境生活部長

- ・水道復旧率12%である。

○岡部保健福祉部長

- ・現在活動している医療チーム59チームは4月下旬までの活動である。
- ・災害ボランティアについて、4月2日時点で2,511人である。

○河端経済商工観光部長

- ・特になし。

○千葉農林水産部長

- ・特になし。

○橋本土木部長

- ・排水作業について、石巻・東松島地域で作業に着手した。
- ・災害救助法に基づく「住宅応急修理制度」は大規模半壊、半壊世帯が対象になる。工事完

了期間は原則として1ヶ月以内であるが、阪神淡路大震災時は6ヶ月間だった為、工事完了期間の延長を厚生労働省に要望している。

○自衛隊

- ・入浴施設について、米軍も船での入浴を行う。
- ・米軍77,328名が学校での清掃協力を行う。
- ・遺体69体を収容した。
- ・3週間に及ぶ集中捜索終了が終了し、11遺体を収容(宮城9体)した。
- ・生活支援について、炊き出し54ヶ所、水96ヶ所、ミニガソリンスタンド石巻4ヶ所であり、海上自衛隊は離島向けに燃料支援を行った。

○竹内警察本部長

- ・遺体累計7,431体を収容した。
- ・遺族に5,957体、6市町村に225体、計6,182体(83.1%)引渡しした。
- ・身元不明者3%である。
- ・現在収容数1,792体である。
- ・身元確認を最大限努力していきたい。

○消防庁

- ・本日緊急消防援助隊676人活動中である。

○海上保安庁

- ・遺体8体収容した。

- ・漂流船37隻をえい航した。

○東北電力(株)

- ・停電率7%である。

○東北経済産業局

- ・ガソリンスタンド稼働率79%である。
- ・出荷率127%である。
- ・東北地区のガソリンスタンド営業情報を公表した。

○小林教育長

- ・公立学校の人的被害については児童・生徒209名、教職員14名が死亡した。
- ・被災者教育相談フリーダイヤルの受信件数について、小中学校66件、高校79件である。

○伊藤企業局長

- ・工業用水道事業について報告。

○村井災害対策本部長

・東日本大震災から3週間が経過し、大臣等が直接現地を訪問し被害状況を見て要望を聴いて頂きとてもありがたい。私も4月8日に被災状況・要望を取りまとめ東京にて直接政府と話し合うので予定であるので、事項があれば早めに企画総務課まで報告をお願いします。これから新たなステージに入ると思うので、早めに教えてほしい。

次回は4月5日10時に開催する。